

# がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

## <べんきょうすること>

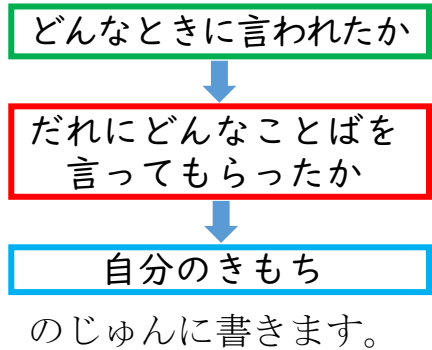
◆「うれしいことば」（きょうかしよ 60～61 ページ）にとりくみます。

- ① どんなときに、どんなことばを言ってもらおうとうれしいですか。  
 (れい) のようにノートやとりくみシートに書いてみましょう。

(れい) がんばった とき	すごいね。がんばったね。
(1)がんばった とき	
(2)こまった とき	
(3)はじめてできた とき	

- ② 言ってもらってうれしいことばを文にしてみましょう。 (れい)

文にするときは、



うれしくて、もっととべようになりたいとおもいました。	「じょうずだね。」 と言ってくれました。	あやとびを、三十回つづけてとべました。	じょうずだね さいとう あずさ
----------------------------	-------------------------	---------------------	--------------------

◆「かん字のひろば」（きょうかしよ 62 ページ）にとりくみます。

きょうかしよ 62 ページにあるかん字をつかって、文をつくります。文のおわりに、まる(。)をつけましょう。

## <保護者による関わり方のポイント>

※可能な範囲でお願いします。

- ・うれしいことばを3文程度で書きます。「文のまとまりで改行すること」と、「かぎかっちは改行すること」が基本となりますが、文の書き方については85 ページで改めて学習を行います。
- ・今回は「どんな時(緑) → 誰に・どんな言葉(赤) → 気持ち(青)」の順に書くことにしましたが、文がこの順になっていない場合でも、どんな時にうれしい言葉を言われたかが伝わる文章になれば、順番が入れ替わっても問題ありませんので、うれしい言葉をかけてあげてください。

七月〇日 かん字のひろば

・しまには、田んぼがあります。

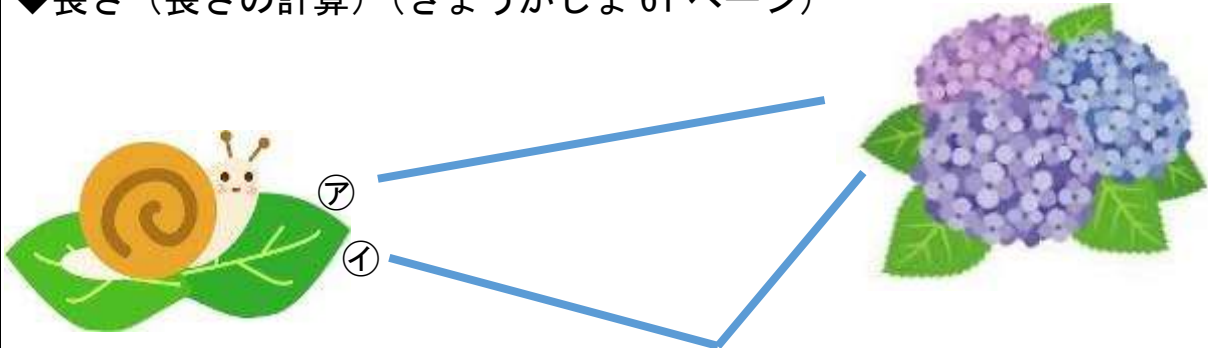
・川をこえていくと、王さまがすむ、おしろがあります。

・赤い夕日がきれいだな。

【さんすう】 「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆長さ（長さの計算）（きょうかしよ 61 ページ）



はやく つくのは どちらの道かな。  
㊦の線の長さと、 ㊩の線の長さを くらべましょう。

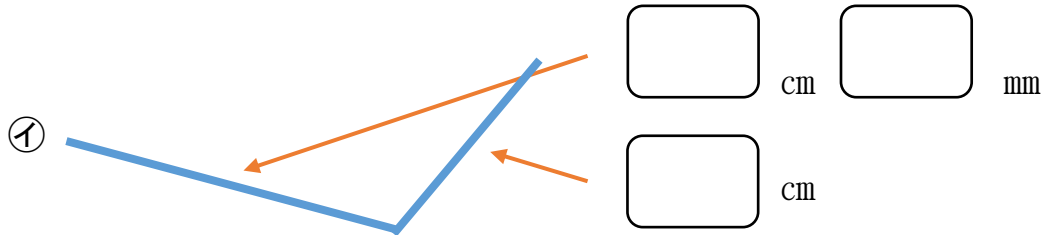
㊦の線の長さは  cm

㊩の線の長さは…。

㊩の線は 曲がっていて 長さを はかることが できないよ？  
あれ？

？ 曲がった 線の長さは どうやって はかれば いいのかな？

㊩の線の長さは 何cm何mmでしょうか。



cm  mm +  cm =  cm  mm

※同じ たんい どうしを たせば…。

㊩の線の長さは  cm  mm

㊦の線と ㊩の線では、どちらが どれだけ 長いでしょうか。

$$\square \text{ cm } \square \text{ mm} - \square \text{ cm} = \square \text{ cm } \square \text{ mm}$$

※同じ たんい どうしを ひけば…。

こたえ  $\square$  の線が  $\square$  cm  $\square$  mm長い

なぜ 同じ たんい どうしで 計算するのでしょうか。  
おうちの人に お話ししてみよう。

<れんしゅうもんだい> 計算を しましょう。

①  $4 \text{ cm} + 5 \text{ cm} = \square \text{ cm}$

②  $7 \text{ cm} - 3 \text{ cm} = \square \text{ cm}$

③  $6 \text{ cm } 4 \text{ mm} + 2 \text{ cm} = \square \text{ cm } \square \text{ mm}$

④  $4 \text{ cm } 6 \text{ mm} - 2 \text{ mm} = \square \text{ cm } \square \text{ mm}$

<この <sup>べんきょう</sup>勉強で、わかったことや、きづいたこと、  
おもしろかったところを、おうちのひとに お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆長さ（教科書 P61）

- ・ 7 cm 5 mmのひもや針金などを 4 cm 5 mmと 3 cmの間で折って見せるなどの活動を実際に行うと、長さにおいて、たし算やひき算ができることが分かるようになります。このような活動を通して、たし算やひき算の意味を理解することにつながります。
- ・ <れんしゅうもんだい>を行う時には、同じ単位同士でなければたし算やひき算ができないことを、しっかりと意識付けておくことが大切です。

## 【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。道具をつかうときは、かたい物やわれる物はつかわず、安全におこないましょう。

### <べんきょうすること>

※さんこう動画

[https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home\\_karada\\_.html](https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html)



◆「バランスをとるうごき」にちょうせんしましょう。

- (1) 紙コップをあたまの上ののせておとさないように歩いてみましょう。
- (2) あるく速さや回数、しせいなどを変えてチャレンジしてみよう。
- (3) 紙コップを体のいろいろなばしよにのせてチャレンジしてみよう。

かみコップを  
おとさずにあるけるかな?

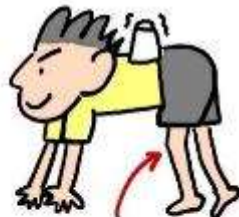


①かたあし  
あるき



あしをたかく  
あげよう!

②くまあるき



ひざをゆがにつけないで  
あるこう!

③クモあるき



おいしをあげよう

### <保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。